

道徳学習指導案

日 時 平成 30 年 9 月 19 日(水) 5 校時
対 象 3 年 1 組 (男子 15 名 女子 5 名 計 20 名)
指導者 教 諭 立石 愛美子

1 主題名 寛容の心 2 - (5) 自他の尊重, 寛容, 謙虚

2 資料名 「言葉の向こうに」(出典 文部科学省「中学校道徳読み物資料集」)

3 学習指導要領との関連

2 主として他の人とのかかわりに関すること

(5) それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解して, 寛容の心を持ち, 謙虚に他に学ぶ。

【新学習指導要領】

B 主として人との関わりに関すること

(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。

4 主題設定の理由

人は様々な集団や社会の一員として生活している。中学生も学級や部活動などの集団に属しており, 日々, 人とのかかわりを通して生活している。中学生の時期は, ものの見方や考え方に違いが現れてくるとともに, 個性がはっきりしてくる時期である。自分の考え方や立場にこだわる傾向もあり, 友人間で意見の対立が起こることも少なくない。そのような中, よりよい人間関係を築いていくためには, 自己表現をするだけでなく, 様々な価値観を受け入れる寛容な心をもつことが大切である。そこで, 相手の意見や考えを尊重したうえで, 自己表現をすることができる姿勢を養うことが課題である。

5 生徒の実態

生徒の実態を把握するため, 本学級の生徒に次のようなアンケートを実施した。

(アンケート対象: 3 年 1 組 実施日: 平成 30 年 7 月 4 日 回答: 男子 14 名 女子 5 名 計 19 名)

【アンケート結果】

1 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を利用し, 書き込みをしたことがありますか。
はい… 17 名 いいえ… 2 名

2 1 で (はい) に ○ を付けた人へ質問です。利用したことがあるものに ○ をつけてください。(複数回答可)
LINE… 17 名 ツイッター… 4 名 フェイスブック… 1 名 インスタグラム… 2 名
その他… 回答者なし

3 全員へ質問です。SNS の良い点と課題点をそれぞれ答えてください。

(良い点)

- ・すぐに使える。(話ができる。メッセージが送れる。)(4 名)
- ・色々な人とつながれる。
- ・たくさんの人と話せる。やりとりができる。(2 名)
- ・気軽に使える。

- ・実際に会わなくても離れている所で話せる。(2名)
- ・いつでも友達と話することができる。
- ・みんなと簡単に共有できる。
- ・遠くにいる人にも話せる。
- ・みんなと分かち合える。
- ・いろいろな人とコミュニケーションすることができる。
- ・連絡などが簡単に取れる。
- ・手軽に話をしたりすることができる。

(課題点)

- ・トラブルが起きる可能性あり。(3名)
- ・悪口を言ったりしていじめにつながる。(2名)
- ・犯罪に巻き込まれる。
- ・相手の考えが分からない。
- ・きちんと話が伝わらない。
- ・人を傷つける物にもなる。
- ・簡単にいろんな人に情報が広がってしまう。
- ・夜中にラインがきてうるさい。
- ・相手の顔を見ることができない。
- ・悪用されることがある。
- ・特になし。(3名)

【アンケート考察】

本学級の生徒19名中17名が「SNSを利用し、書き込みをしたことがある」と答えている。利用しているSNSを具体的に問うと、17名とも「LINE」の利用を答えた。SNSの良い点については、「すぐに使える。(話ができる。メッセージが送れる。)」 「実際に会わなくても離れている所で話せる。」 「色々な人とつながれる。」 など、ネットの利便性についての回答があった。課題点については、「トラブルが起きる可能性あり。」 「相手の考えが分からない。」 「きちんと話が伝わらない。」 など、ネット上におけるコミュニケーションについての課題が多く挙げられた。

アンケートの結果より、多くの生徒がSNS利用をしている実態が分かった。また、良い点や課題点をそれぞれ把握していることも分かった。課題点が多く挙げられている一方で「課題点は特になし。」という回答もあり、課題意識の低い生徒がいる実態もある。

そこで、本主題を通して、ネットを通じたコミュニケーションにおける課題点について、より意識付けさせたい。そして、様々なものの見方や価値観にあることに気付き、相手の姿が見えないネット上のコミュニケーションにおいても、相手の立場や考えを尊重し、寛容な心で接しようとする姿勢を養いたい。

6 本時の実際

(1) 本時の目標

主人公の行動を通して様々な価値観があることに気付き、相手の姿が見えないネット上であっても、相手の立場や考えを尊重し、寛容な心で接しようとする態度を育てる。

(2) 資料について

ヨーロッパのサッカーチームのファンである「私」は、ファンサイトに普段からアクセスし、仲間との交流を楽しんでいる。ある日の試合後、心ない書き込みを発見した「私」は、ひどい言葉で応じてしまい、他のファンから注意をされる。その後「私」は、顔が見えないネット上でのやりとりを通して、相手を尊重する気持ちを忘れてしまい、自分本位な書き込みをしてしまっていたことに気付く。

指導にあたっては、ネット上においても様々な価値観のある人がいるため、相手の気持ちを想像してコミュニケーションをとること、寛容な心で受けとめることの大切さに気付かせたい。本資料のような状況は、ネット利用のなかで起こりやすい出来事であるため、言葉を発信する先には受け手がいることを想像し、より良くコミュニケーションをとるためにはどのようなことが大切なのか考えさせたい。

(3) 展開

過程		時間 形態	主な学習活動	主な発問と生徒の反応予想 [発問]・反応予想	○指導上の留意点 ◎評価
導 入	意識 化	3分 一斉	1 アンケートの結果を見る。	SNSを利用したことがありますか。SNSの良い点・課題点とは、何でしょうか。	○ アンケートの結果を見て課題意識をもたせる。 ○ ワークシートを配布する。
		2分 一斉	2 学習課題を確認する。 自分の思いや考えを伝えるときに大切なこととは何だろうか。		
展 開	焦点 化 価値の 追求 ・ 深化 自 覚 化	5分 一斉 個	3 自分の好きな芸能人やスポーツ選手等を批判されたら、どういう行動をとるか考える。	あなたがA選手のファンの立場ならどうするか。 ・ 言い返す ・ 無視する ・ 注意する ・ その他	○ 本資料のファンサイトでの書き込みを大型TVで提示しながら説明し、資料への関心を高めさせる。 ○ 自分の立場を明確にさせるために、同調できる行動パターンの箇所（黒板）に、ネームカードを黒板に貼らせる。 ○ 「私」の行動や思いに留意して範読を聞くように指示する。 ○ A選手のファン仲間からの批判であることをおさえて考えさせる。もし自分だったらどう思うかを個人で考えさせた後、発表させ共有する。
		12分 一斉 個	4 資料の範読を聞いて「私」の行動や思いについて考える。 (1) 心ない書き込みを読んだ「私」の態度について考え、学習プリントにまとめ発表する。 (2) 同じファンから批判された時の「私」の気持ちについて考え、学習プリントにまとめ発表する。	「私」の言葉がだんだんエスカレートしたのはなぜだろう。 ・ A選手を悪く言う人がいていやだったから。 ・ 何も反応しないとA選手は悪く言われたままだ。 「中傷する人と同じレベルで争わないで。」という書き込みを見た時「私」はどんなことを思っただろう。 ・ どうして私が責められるのか。 ・ 悪口を書いた方が悪い。	
		15分 個 班	5 インターネット上におけるコミュニケーションについて大切なことを考える。 (1) 個人で考え学習プリントにまとめる。 (2) 班で意見の交流を図る。	「私」が発見した「すごいこと」とはなんだろう。 ・ 人それぞれ考え方は違うので、広い心で受け止める。	

	自 覚 化	一斉	(3) 全体で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場を尊重する。 相手の気持ちを考えて言葉を選ぶ。 	◎ 言葉を発信する側・受け取る側というように、様々な視点から捉え、考えようとしているか。
終 末	意 欲 化	13分 個 一斉	<p>6 本時の授業で学んだことを振り返る。</p> <p>(1) これまでの自分の行為を振り返り、これからの自分の行為について考えを学習プリントにまとめ発表する。</p> <p>(2) グループLINEにおいて、自分が尊敬している先輩のことを批判されたとき、どのような行動をとるか考える。</p> <p>(3) 教師の説話を聞く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お互いの思いや考えを伝え合うときに、どのようなことに気をつければ、よりよい人間関係が築けるだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>掲示板では知らない相手とのやりとりでしたが、知っている相手同士のグループLINEになったらどうでしょうか。</p> </div>	<p>○ 本時を通して考えたことをもとに、適切なコミュニケーションをとるためにどのようなことに気をつければよいか考えさせる。</p> <p>◎ どのように考え行動すべきか自分なりに考えをまとめることができたか。</p> <p>○ ワークシートを配布する。</p> <p>○ 自分の意見も伝えつつ、先輩の立場が悪くならないようにするためには、どのような返信をしたらよいかを考える。</p> <p>◎ 実際に身近に起こりうる問題を、自分のことと捉え、考えることができたか。</p> <p>○ 食品会社お客様センターの仕事について触れ、本時のねらいとする道徳的価値(寛容な心)についておさえる。</p>

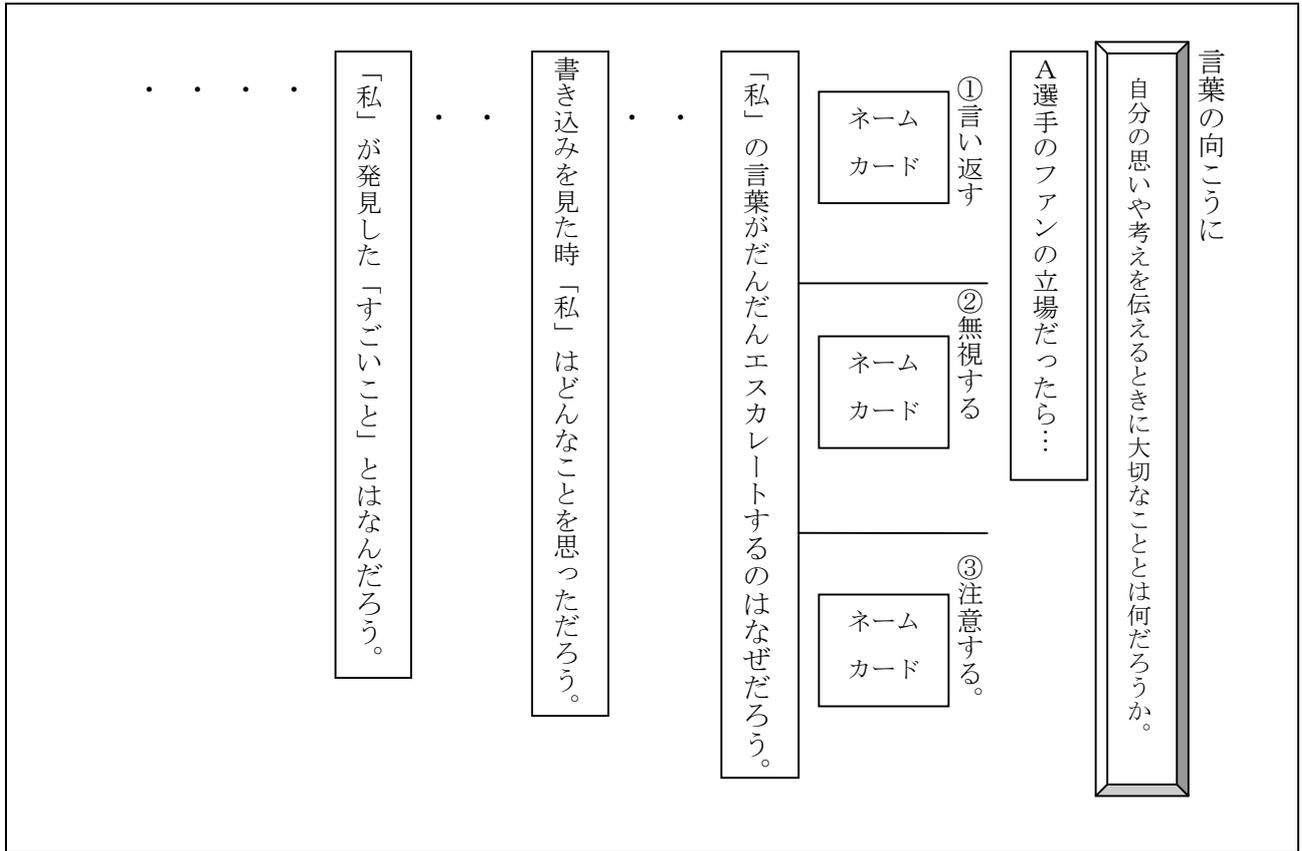
(3) 評価

ア 「私」の行動や思いについて、自分の考えをまとめることができたか。

イ 「私」がファンサイトでのやりとりを通して気付いたことについて、グループで積極的に話し合うことができたか。

ウ 適切なコミュニケーションを取るために、どのように考え行動すべきかワークシートにまとめ、発表することができたか。

(4) 板書計画



《学習課題》 自分の思いや考えを伝えるときに大切なこととは何だろうか。

1 もしも、自分がA選手のファンの立場だったら…(当てはまるところに○をつけよう。)

- ①言い返す ②無視する ③注意する

2 「私」の言葉がだんだんエスカレートしたのはなぜだろう。

--

3 自分に対する書き込みを見た時、「私」はどんなことを思っただろう。

--

4 「私」が発見したすごいこととは何だろう。

(個人の考え)	(グループの考え)
---------	-----------

5 これまでの自分を振り返り、今後、お互いの思いや考えを伝え合うときに、どのようなことに気をつけていけばよいかまとめよう。

(まとめ例) これまでの私は()だった。これからは()していきたい。

〈授業の振り返り〉(A…できた B…ふつう C…できなかった)

- 1 自分の考えをはっきりと持つことができた。 (A ・ B ・ C)
2 意見交換のとき、相手の意見をしっかりと聞くことができた。 (A ・ B ・ C)
3 自分の思いや考えをしっかりと相手に伝えることができた。 (A ・ B ・ C)

〈グループLINEの内容〉



自分



クラスメイトA (自分とクラスの中でも仲がよい)



クラスメイトB (D先輩とCと同じ部活に所属)



クラスメイトC (D先輩とBと同じ部活に所属)



たしかに優しいよね。
リーダーシップもあるし。

D先輩ってすごく優しいよね。



でも、D先輩ってさ、部活ではミスばかりするよ。

この前も、困ってる時助けてくれたし。



そうそう。この間の試合でもミスしてたよ。ホント！どうにかしてほしい。



だから、部活の中であんまり人気ないんだね。ちょっと見方変わるなあ。



はっきり言って、私、あの先輩きらいだな～



このままだと、D先輩の評判悪くなってしまふ・・・
このままみんなの話の流れに乗ったら、先輩と明日から顔合わせづらいし、無視もできないし・・・どう書き込もう!?